

例会日：水曜日

第1・第2:18:30～(夜) 第3・第4・第5:12:30～(昼)

例会場：ルミール華月殿 和歌山市屋形町2-10

事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁23

サイバーリンクス N-4ビル 2階

TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200

http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html

E-mail: a-rotary@coral.cypress.ne.jp

会長：吉田 遼 幹事：鯨 拓也

会報委員長：楠見珠緒

週報

38号



南紀の海②
撮影 4月7日(日)

本日の例会

4月24日(水)
12:30～華月殿

ロータリング：花になろう 鳥になろう

行事：外部卓話「高齢社会と町づくり
～地域づくり～」和歌山大学システム工学部
環境システム学科 教授 足立 啓様

次回の例会

5月1日(水)
18:30～華月殿

行事：「戦国武将の脳に学ぶ」
和歌山県立医科大学
理事長・学長
板倉 徹様

先週例会報告

ゲスト：E-証券(株)和歌山支店長 中尾 八朗様 (7EリRC)
営業企画部課長 佐々木 英敏様、係長 通坂昌子様
ビジター：和歌山南RC 山中 静様

会場監督 谷口 拓

会長挨拶

吉田 遼 会長

皆様 こんにちは 本日の行事は外部卓話になります。

エース証券株式会社 和歌山支店長 中尾八朗様、そして営業企画部課長 佐々木英敏様にお越し頂いております。テーマは「現代の投資環境」となっておりますが、投資ということで“株”も非常に好調のようですが、これから先未だ解りにくいかと思っておりますので、詳しいお二方に期待したいと楽しみにしておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

寒川会員の所に行つてまいりました。現在も治療を続けられているようで、ロータリーに早く復帰できるように頑張るとのことでした。

又、今日例会終了後、4時から向陽高校へ行って来ます。東南育英会新奨学生 2名の推薦依頼書(新1年生)を持参いたします。卒業された元3年生はその後どうなっているかも聞きたいと考えています。

松木田さんも良い働き口がみつかっていれば良いのになぁと思っております。

市内9クラブの合同ゴルフコンペ 5月14日(火曜)ですが、参加者が少ないので、参加できる方、再度お願いしたいと思いますので宜しくお願いします。4月20日(土曜)が締切となっております。



幹事報告

鯨 拓也 幹事

- ① 本年度第4回目のIDMテーマが発表されました。5月15日(水)の例会で発表となっておりますので、各班長様開催日決定よろしくお願いします。
- ② 熊本東南RCさんより42周年記念例会のお礼状が届いております。来年は、熊本東南RC30周年記念を開催する予定です。熊本で行うか宮崎あたりで開催するかまだ決まっていない様子でしたが、また楽しみです。
- ③ 42周年記念例会の収支について、皆様のご協力のもと、上手く収まりましたのでご報告いたします。



◀ ロータリーの効用 ▶

② ロータリーは人をつくる。



	ニコニコ	米山奨学金	ロータリー財団	東南育英会	紀南災害義援BOX	姉妹クラブBOX	出席報告	出席者	出席率
会員総数							50名	4/17	60.42%
出席免除会員							3名	4/6	77.55%
累計	2,742,572	285,000	973,000	38,000	5,000	329,000			

ニコニコ箱

平 平治 副会長

中尾八朗様(アゼリア RC)・何時もお世話になります。
 本日はよろしくお祈いします。
 鯨君・おまじない。明日から小使いへりませぬ様に！
 松浦君・郷間さん先日はありがとうございました。
 本日はお休みさせていただきます。
 山田君・昨夜はありがとうございました。郷間さん、お世話になりました。
 ご本人お誕生日お祝い・釜中君。
 ご結婚記念日お祝い・有本君、吉田君。



ロータリー財団

平 平治 副会長

片畑君・ロータリー財団へ。

東南育英会

平 平治 副会長

吉田君・外部卓話 エース証券(株)
 中尾様 佐々木様 宜しく
 お願いします。



委員会報告

創立42周年 会計報告 42周年例会 副会計 市川正夫



創立42周年記念例会・姉妹クラブとの合同親睦例会の参加者は 和歌山東南(45名)、台北東南(24名)、熊本東南(19名)で合計88名の参加でした。
 会員からは姉妹クラブボックス並びに協賛公告のご協力を頂き、又、姉妹クラブからの多額のご厚志のおかげで補正予算の必要もなく、最終親睦例会の予算もある程度確保できました。後日、会計報告書を配布させていただきます。

外部卓話「現代の投資環境」 エース証券(株) 和歌山支店長 中尾 八朗様 営業企画部課長 佐々木 英敏様



今後のマーケットを考える上で過去の日経平均と為替の歴史的な動きを同じ時間軸で見たNYダウ平均の動きを検証して見たい。(資料1)戦後の復興期～高度経済成長期～安定成長期～バブル期～バブル崩壊後の不況期～デフレ期～現在迄の中で固定為替360円～スミソニアン合意による円切上げ、1973年2月からは円変動相場制への移行。1989年12月末の日経平均高値38,916円～その後、サブプライム～リーマンショックを経験し、民主党政権時の3年3か月では、各国株式市場が新値を更新している中、日経平均はカヤの外で財政状況が悪いにも係らず75.95円の為替となりました。2012年11月阿部自民政権になり、日経平均、為替の動きが一変しました。又、黒田日銀総裁により異次元ともいえる金融緩和は結果的に一般の円安～株高につながるため、当面は金融緩和、円安関連が上昇していく事と思われます。

参考～2013年1月 マネタリーベース

FRB 米国 QE1～3 3.5倍、EOB EU ギリシャ問題を含め 2.5倍

日銀 日本 白川総裁時 1.3倍 (138兆円) 2013年末 (200兆円) 2014年末 (230兆円)

「アベノミクスでスーパーブルサイクルへ」



世界が注目していた黒田新体制発足後初の日銀金融政策決定会合は、市場の想定を上回る金融緩和の強化を決定しました。具体的には「質的・量的金融緩和」の概念を導入し、インフレ目標の2%を、2年程度を念頭に早期に実現するため、マネタリーベース(現金+当座預金)と長期国債・ETF・J-REITの保有額を2年で2倍に拡大するというものです。これで、マネタリーベースの残高は2012年末の138兆円から2013年末に200兆円、2014年末に270兆円へと増加することになります。

マネタリーベースの拡大は、予想インフレ率の上昇と円安要因となり、企業や個人の投資行動を促し、輸出の回復や資産価格(株式や不動産)の上昇による消費刺激等が需要の増加に繋がり、デフレ脱却→実体経済の回復に至るシナリオの実現を目指すものです。今回の日銀の『次元の違う金融緩和策』発表により、史上初めて米国・欧州・日本が同時に大規模な金融緩和を行うこととなり、その影響は約5年ぶりに最高値を更新したNYダウをはじめとする世界のマーケットに現われ始めております。

アベノミクスは動き出したばかりで実体がなく、期待が先行し過ぎているという批判の声もありますが、薪(実態経済)に火をつけるべく、資産効果を狙って長期間低迷していた株価と不動産価格を上昇させることで、国民に目に見える形でデフレからの脱却を実感してもらうことであり、ここ数ヶ月のマーケットを見ると良い方向へ歯車が動き出してきたと言えるのではないのでしょうか。

今後は7月の参議院選挙で久しぶりにねじれ国会が解消する可能性や、9月には2020年夏季オリンピック候補地に東京が選ばれる可能性があるなど、株式市場にとっては好材料が目白押しであり、長期上昇トレンドを維持することになりそうです。